



運動会が無事に終了 ありがとうございました

10月2日(日),まさに快晴,雲ひとつない青空の下,令和4年度の運動会を開催することができました。

子ども達は,この日のために練習してきた成果を十分に発揮できたものと思います。代表委員会で決定した「最後まで熱く 協力して挑戦する 堂崎小」のテーマの通り,最後まで熱く頑張る姿,仲間と協力する姿,自分の全力に挑戦する姿を随所に見ることができました。大きなケガがなかったこともよかったです。

運動会終了後,先生達が子ども達の成長の様子を話しているのを聞きながら,収穫のある運動会になったことをうれしく思いました。

保護者の皆様には,前日のテント設営から後片付けまでご協力いただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

【運動会結果】 赤白対抗の部:白組 応援の部:赤組 名対抗リレー:大苑名



6年生がリーダーとして頑張った応援合戦。小学生最後の運動会に全力で取り組みました。



今年もたくさんの参加があった「親子なかよく」。急遽,職員チームも出場することに。



運動会の合間に辻先生へ5年生保護者から結婚おめでとう!のサプライズ。迫力のソーラン節。



6年生の「親子であわせて」では、恒例の仮装が楽しめました。チャンス競技やリレーも盛り上がりました。

「最後まで熱く協力して挑戦する堂崎小」のテーマ通りの運動会となりました。

<校長日記>

10月4日(火)

視力検査があってました。タブレットの長時間使用で視力が下がる子が増えているそうです。子ども達の家での使い方にもご注意ください。

10月5日(水)

ICT 支援員の相川さんが来校する日でした。2年生にタブレットの使い方を指導してもらいました。写真を撮ったり、その写真にペンで落書きしたり楽しそうに学習をしていました。



10月6日(木)

5校時に「いっちゃん楽しいコンサート」がありました。子どもを笑わせてリラックスさせながら、音の楽しさ＝音楽を伝え、間にはさむ話では人生で成功する秘訣を語るなど、私たちが飽きさせない本当に楽しいコンサートでした。

最後にみんなで市原さんを囲んで写真を撮りました。



10月7日(金)

明日は若草保育園の運動会が本校体育館であります。今日は園児たちが体育館で運動会の予行練習をやっていました。



避難訓練

不審者への対処法を身に付けるための避難訓練を行いました。講師としてスクールサポーターの福田さんに来校していただきました。また、PTA 校外生活指導部から6名の方々(高田恵美・中村知佐美・小島沙也香・鬼塚侑里・大槻栄子・金子夏美 敬称略)にも来校、協力いただきました。

今回は、不審な人から声をかけられた時を想定しての訓練をグループに分かれて行いました。声をかけられておかしいと感じたら、「子ども110番の家」役のお母さんのところに逃げ、状況を話すという訓練です。

以前勤務した学校に、「子どもにあいさつしたら逃げられた」という苦情が届いたことがありました。こういう訓練が効きすぎて、「人を見たら泥棒と思え」が行き過ぎるのも問題だなあと思ったことでした。

いずれにしても、危険を避けることを学んで欲しいと思います。



避難訓練が終わった後に、下記の表彰伝達を行いました。おめでとうございます。

南島原市交通安全啓発図画コンクール

- ・市長賞(優秀賞) 5年 田中きいら
- ・市長賞(準優秀賞) 1年 松尾あんな

<校長日記>

10月11日(火)

堂崎小で、ブランコに乗っている子と近くを通りかかった子がぶつかってしまう事故が起きたことがありました。子ども達が運動場へ移動する通り道にブランコが設置してあり、しかもブランコの前後とも通れる場所なので事故が起こりやすいのです。そこで、片側だけですが、柵を作る工事をやってもらいました。「柵の内側は危険なので入らない」という目印になります。これで事故がなくなればと思います。

運動場のネットの補修も済んだので一安心です。



10月12日(水)

朝から地区児童会がありました。バスで登校する地区の子たちは、バスの乗り方の反省をやっていました。「運転手さんにあいさつをする」とか「静かに乗る」などの項目毎に◎○△をつけ、悪かったところは気をつけるようにしています。



タクシー会社の都合で10月からスクールバスの運転手さんが代わっています。話しをしたところ、新しい運転手さんは堂崎小の卒業生だということでした。今も堂崎校区にお住まいだそうです。「古い校舎ができた時に小学生でした」ということでした。

10月13日(木)

島原特別支援学校から児童と担任の先生が来校し、1年生との交流学習を行いました。その子と保育園がいっしょだった1年生も多くいて、すぐに打ち解けてゲームなどを楽しんでいました。



10月14日(金)

ジオパーク協議会から指導員の方に来校いただき、4年生が学校周辺のジオパーク学習に出かけました。「堂崎小周辺の宝物地図を作ろう」というめあてをもって取り組んでいました。今まで何気なく見ていた場所が宝物に思えてきたかもしれません。

自転車道路の工事のおかげで島鉄跡地の地層がよく見えるようになっていました。



1 1月行事予定

- 1日(火) ランランタイム開始
- 2日(火) 1年生生活科見学(北有馬)委員会活動
- 3日(水) 文化の日
- 8日(火) 3年生Aコープ見学
- 9日(水) 芋掘り
集団下校 *15:00 下校
- 11日(金) 2年生生活科見学
6年生ふるさと発見見学
- 16日(水) 代表委員会
- 17日(水) 4年社会科見学(口之津)
2年親子給食・レク
- 18日(金) 西望展・古野展 ~20日
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 29日(火) 持久走試走
- 30日(水) 委員会活動

*12/6(火) 持久走大会(午後)

*12/23(金) 終業式



かけ算「九九」

2年生の教室をのぞくと「かけ算」の学習をしていました。これから各段の「九九」を順に覚えて、スラスラと言えるようになるまで練習をしていきます。昔から変わらない小学2年生の学習です。

私は2年生を担当したことが1回しかないのですが、その時子どもから「なぜ「九九」って言うのですか？」とたずねられ、「なんでかねえ？先生も知りません。」という会話をした記憶があります。その後、このことはすっかり忘れていたのですが、ずいぶんたってから数学史家の大矢真一さんという方が、このことについて書かれているのを見つけました。それによると、「九九」には、おおよそ以下のような由来があるそうです。

今から千年ほど前、ある貴族が自分の子どものために教科書のような本を作った。この本の中に私たちが今も使っている九九の表がのっていて、それが「九九 八十一(くく はちじゅういち)」から始まっていた。そして、このはじまりの言葉から、この表のことを「九九」と呼ぶようになった。

というのです。もし、「一一が一(いんいちがいち)」ではじまっていたら、「九九」ではなく、「一一(いんいち)」という呼び方になっていたのかもしれない。

大矢さんは「九九」について、「『ににんがし』という言う時は『が』があるけれど、『にじゅう』の時は『が』がないのはどうしてか。」ということも書かれていました。

リズム良く言えるからだろう、と私は思ったのですが、大矢さんによると「が」は「ゼロ」を表している」ということです。つまり、答えが一桁になる時に「が」が入る、というのです。

二二が4(04), 二三が6(06), 二四が8(08), 二五10, 二六12……, 他の段も言ってみると、確かに大矢さんの言う通りです。納得しました。

ちなみに、九九は日本で発明されたものではなく、中国から伝わったのだということです。

九九を覚えるだけでなく、こういうことも子どもたちに話してあげるとおもしろいかもしれません。(2年生以上の子も九九をちゃんと言えるかどうか家で確認してみてください。)



<校長日記>

10月17日(月), 10月18日(火)

1泊2日で人間ドックに行き、学校を留守にしていました。最近亡くなったアントニオ猪木さんがよく口にされていた言葉に「元気があれば何でもできる」というのがあります。

ます。人間ドックで検査をしてもらおうと、いろいろガタもきています。なので、何でもはできませんが(笑)、ほどほどに健康でありたいと思いました。そのために何かやらねばと思わせるところが人間ドックのよさかもしれません。

10月19日(水)

朝から縦割り遊びがあっていました。6年生がリーダーになって各班ごとにちがった遊びを楽しんでいました。運動場ではドッジボールで盛り上がっていました。



10月20日(木)

運動会後、3年生は朝からみんなでリレーをやっています。最初は担任の永田先生が指示をして走っていたのが、今では自分達で組み分けなどやりながら走り始められるようになったということです。学級がまとまって、元気に走っている姿がすばらしいです。



10月21日(金)

5年生教室の黒板いっぱい、6年生からの「お帰りなさい」メッセージが描いてありました。修学旅行の時に5年生が描いてくれたお返りで描いたそうです。宿泊学習から帰ってきた5年生が見るとうれしいでしょう。そういうことを考え、感じる心が育ってきているのはうれしいことです。



また、玄関には小淵事務職員が宿泊学習の様子を掲示板にまとめていました。引率している教頭先生から写真を送ってもらって、子ども達が帰ってきた時には完成している計画です。これも子ども達にとってうれしいことでしょう。



臨時 PTA 役員会

10月24日(月) 19:30～ 堂崎公民館

連絡が届いていると思います。
ご出席をよろしくお願いたします。



臨時 PTA 役員会

10月24日(月)に臨時 PTA 役員会を開催しました。概要をお伝えします。

○堂崎小プールの閉鎖について

市教育委員会から担当者2名が来られ、「来年度から堂崎小のプールを閉鎖したい」「今後の水泳指導はバス移動により有家小プールを使用して行うことを予定している」という説明がありました。

閉鎖の主な理由は、「施設老朽化」と、それに伴う「維持管理費用」です。

堂崎小プールはできて50年経過しています。ろ過装置も古いため、安全な水質を維持する塩素濃度管理等にたいへん注意と手間がかかります。改修するには費用も大きくかかります。そこで、今後のあり方を総合的に判断した結果、今回の提案となったということでした。

加津佐～南有馬地区の小学校が以前からバス移動で水泳指導を行っています。移動にかかる時間のロスはありますが、本校でも今まで同様の水泳指導時間は確保できる見込みです。ですので、来年度より水泳指導を有家小プールで行うように計画をしていきます。

ただ、夏休みに PTA 主催で実施していたプール開放は今までのようにはできなくなります。これは今後、PTA での協議事項となります。有家小に問い合わせたところ、PTA で夏休みプール開放は行っており(ただしコロナのために統合後は実施をしていないそうです)、堂崎小が参加することも可能だろうということでした。その他、市内で開放を行っているプールが6箇所ありますので(内4箇所は中学生以下無料です)、そこを利用することも可能です。来年度に向けて計画を立てていく必要があります。

老朽化したプールの維持管理については県内はもちろん全国的に課題となっており、閉鎖・統合、民間プール活用等、各地で様々な取組がはじまっています。南島原市では、今回、堂崎小と飯野小のプールを閉鎖し、近隣校のプールを使用する計画であるという説明でした。

プールの閉鎖について、御理解をお願いいたします。

○OPTA 専門部予算

昨年度、PTA 専門部の活動を中止したために活動費が残ってしまった部があり、繰越金として処理したのですが、予算計画と違うということで監査の時に問題に上がりました。今年度も活動を中止した部があるので、どうするかというのが議題となりました。PTA 予算は単年度で使い切ることが基本であるので、計画通りに使い切ることを確認しました。

<校長日記>

10月24日(月)

2学期はALTとして布津中からジョセフ先生が月1回来校します。今日のはじめての来校日でしたので、授業のはじめは各学年でジョセフ先生の自己紹介から授業が始まっていました。カツカレーが好きだそうです。ベジタリアンだそうです、昼食は給食ではなく自分で作ったという弁当を食べていらっしゃいました。



10月25日(火)

1～3年生が演劇鑑賞を行いました。演目は「子ども夢劇場 なるほど堂ものがたり」。劇団風の子九州のみなさんによる生の演劇を鑑賞しました。会場である有家小学校体育館には大がかりな舞台が組み立てられており、俳優の方々のよく通る声、コミカルな動きとともに繰り広げられる不思議なお話を楽しみました。低学年には少しむずかしいテーマだったかもしれませんが、演劇のよさを感じることができたのではないのでしょうか。



10月26日(水)

読書集会を行いました。「チューリップの会」の方々に来校いただき、読み聞かせなどで楽しませていただきました。



10月27日(木)

5年生が宿泊学習で拾ったどんぐりを使って「どんぐりトロ」を作り、1・2年生にプレゼントしていました。ほのぼのするトロです。



10月28日(金)

5年生が「普賢岳災害学習」へ校外学習に出かけました。災害記念館や旧大野木場小校舎、未来砂防館を見学して帰ってきました。

表彰伝達をしました

- U12 全日本少年サッカー島原半島リーグ 準優勝 有家 FC
- 島原半島少年ソフトボール大会 堂崎ソフトボールクラブ 準優勝

市P連主催の「読書標語」の募集締切が10月31日(月)となっていますが、例年よりも提出が少ないそうです。子どもだけでなく、保護者・一般の方も提出できます。まだ間に合いますので応募をお願いします。